



「池田塗研」としてスタートし多くの職人仲間と共に顔の見える施工とサービスで業界に新風を起こしている(株)IKEDA (写真中央が池田佳貴代表取締役)

「顔の見える施工」で実績上げる

新型コロナウイルス禍、同業他社との競争や市場縮小などにより厳しい経営環境の中、塗装工事を中心に柔軟な発想と自社職人による顔の見える施工で業績を上げている(株)IKEDA(本社・山形市下条町)。この冬は当所を窓口にも事業再構築補助金を活用し灯油宅配事業を開始した。「恩返しのできる精神で関わる全ての方々に豊かにします」と語る池田佳貴代表取締役社長(35)に起業の経緯と経営理念、事業への思いなどがうかがった。

―独立して13年、これまでの歩みを紹介してください。

池田代表 建築業を経営していた祖父の職人姿に憧れ、中学を卒業後すぐに職人の道に飛び込みました。塗装の仕事に魅力を感じ、小国町や月山道路の橋梁の塗り替え、冬は関東のアパートに住込み高速道路の橋梁塗装に携わっていましたが、22歳のときに山形市内の自宅アパートを事務所に、祖父から譲り受けた軽トラ

トラック1台で個人事業「池田塗研」として独立しました。

しかし、スーツを買って飛び込み営業に走り回ったのですが半年間仕事ゼロ。ハウスメーカーの孫請けばかり。仕事は増やしてはいたものの、このままでは会社の未来はもたらん、社員が家庭を持った時に守れるのだろうか。これが独立してやりたかったことだったろうか。給料は安くて休みもないと若い職人が嘆くのを見て「社員が幸せでなければ、お客様に最適なサービスは提供できない」と本格的な組織づくりを決意し、2016年に個人住宅塗装専門店の(株)IKEDAを設立しました。一からの出直しです。

―以来、年間の施工実績は400件を超えているということですか。

池田代表 お客様の信頼を得るために社内研修を行って塗装の技術レベルを統一するとともに、それぞれの社員が塗装以外にも左官や防水、板金、シーリングができる多能工と



池田塗研 **池田土研** **リフォーム**

塗装から外構エクステリア「池田土研」、雨漏り防水工事「池田防水」やリフォームへと事業を広げる



事業再構築補助金を活用しタンクローリー車を購入、灯油宅配事業に参入



会議所青年部メンバーでもある池田代表。三代目鍋太郎の塗装を手掛ける

(株) IKEDA

（屋号「池田塗研」「池田土研」「IKEDAリフォーム」）
創業 2010年1月 会社設立2016年11月
代表取締役 池田佳貴 資本金5,000,000円
本社 〒990-0823 山形市下条町2-2-1
（山形南店、東根店、高島店、米沢店）
☎023-665-5997 Fax023-665-5827

なることを目指しました。そのことが現在の外構エクステリアを行う「池田土研」、雨漏り防水工事の「池田防水」といった事業部立ち上げに結びついています。

営業スタイルも変えました。コスト高の割には客離れを招いている訪問や電話での営業はやめて、各世代の年齢やニーズに合わせて、YouTubeやブログを掲載したホームページやチラシでの案内に切り替えました。

その上で価格を抑え、雑な仕事や手抜きがないよう目が行き届く自社

職人集団による「顔の見える施工」です。緊密な提案、集積したノウハウによる高い施工品質、写真を添付した工事完了報告書をお渡しするとともに、アフターフォローを徹底しています。

また、かつての私たちのように独立したものの、同じ悩みを持つ職人方々とパートナー契約を結び「困ったことがあつたら一緒に相談して、一緒に乗り越えて夢をかなえる企業」を目指しています。

— ボランティア活動にも力を入れ

ています。

池田代表 全国の老舗や創業間もない塗装店で結成されている施工店集団「塗魂ペインターズ」に加入し、これまでに東京・靖国神社の大鳥居の灰汁洗ひ、フェンスやベンチの塗り替えを行いました。また、隣の矯正施設の外壁を塗装。一緒に作業した少年たちから「笑いながら楽しく作業をしているのを見てうらやましいと思った。自分も納得のできる仕事を見つけた。今は塗装が一番」「親切に教えてもらいうれしかった。今回の体験を思い出し、今

度こそ職場でのつながりを築いていきたい」という手紙が寄せられました。職人の魅力を若い人たちに伝えたいという願いでもあります。

この冬、商工会議所を窓口にして事業再構築補助金を活用し、ウイズコロナを据えた非接触・キャッシュレス型の「灯油宅配事業」を開始しました。当社の職人が灯油を配達することで地域見守り隊の役割を担います。そして冬場の仕事創出です。配達事業を通じて新たな住宅需要の開拓につなげ、雇用の維持・創出を目指したいと考えています。